遠赤外線床暖房

健康　波動

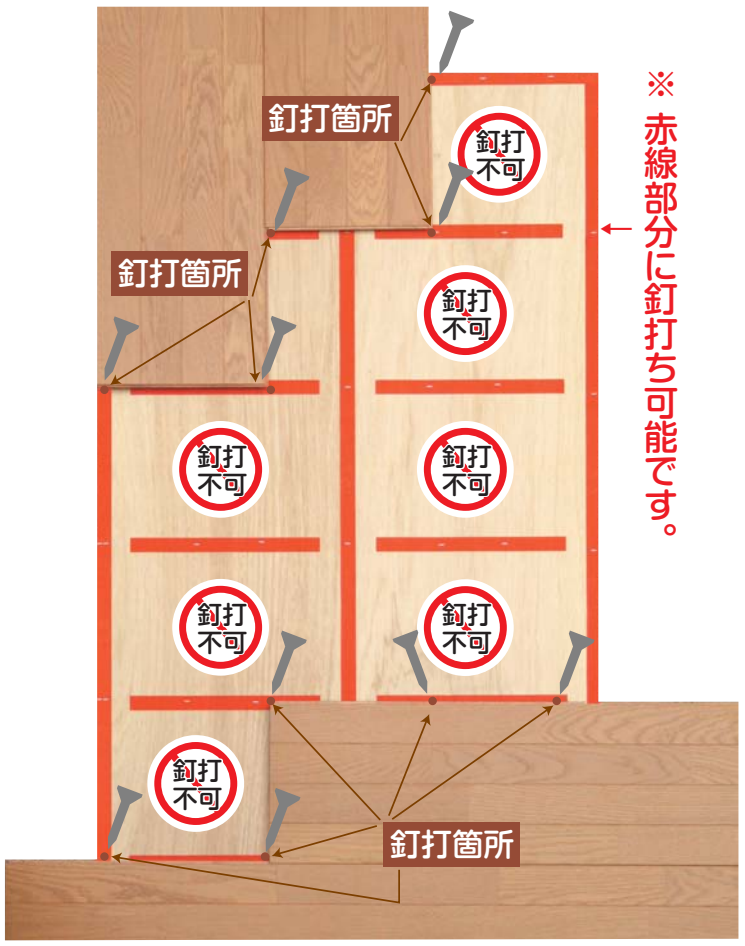
DANTEC 暖テック

施工マニュアル

■ 施工概略図

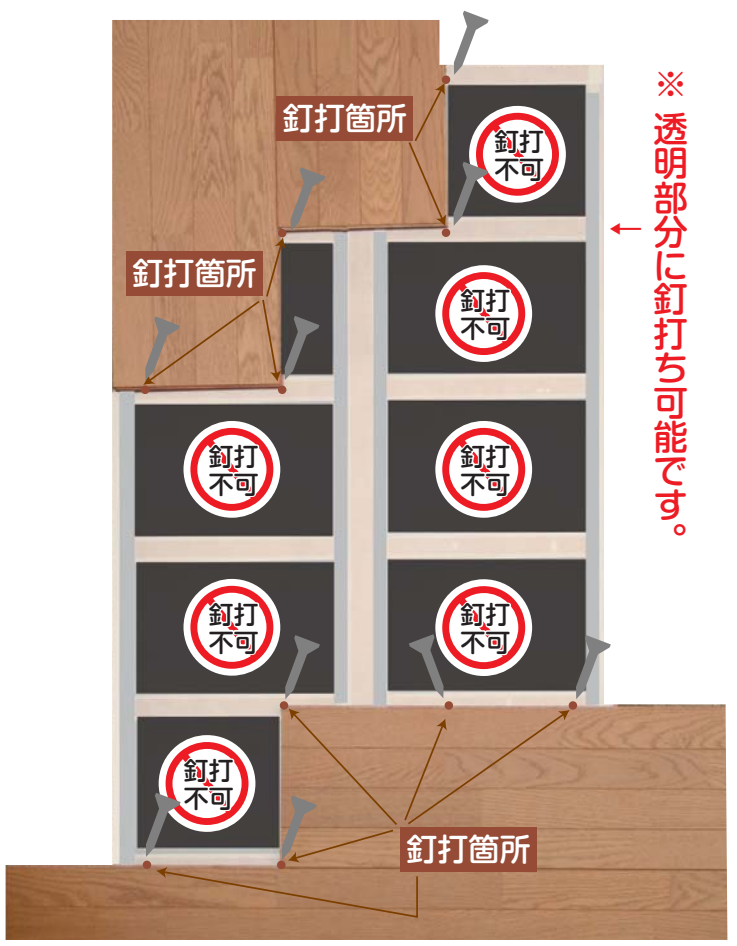
● 暖テックパネル

断熱材一体で施工が簡単。施工時にヒータを傷つける心配がありません。



● 暖テックシート

厚さ0.5ミリなのでリフォームに最適。



● 暖テックパネル

型　式	DA-18090-P	DA-18045-P	DA-9090-P	DA-9045-P	DA-6045-P
製品寸法	1810×910㎜	1810×460㎜	910×910㎜	910×460㎜	610×460㎜
製品厚み	12㎜（電極部を含む）				
定格電圧	AC100V（50/60Hz）				
起動電力	500W	250W	250W	125W	84W
消費電力	300W～100W（安定時145W）	150W～50W（安定時73W）	150W～50W（安定時73W）	75W～25W（安定時38W）	55W～15W（安定時26W）
標準抵抗値	30Ω±25%（気温25℃）	60Ω±25%（気温25℃）	60Ω±25%（気温25℃）	120Ω±25%（気温25℃）	200Ω±25%（気温25℃）
電極部	キャブタイヤコード500～600㎜				
絶縁性能	100MΩ以上（500Vメガオーム計使用）				
絶縁耐圧	AC1000Vで1分間以上耐える				

● 暖テックシート

型　式	DA-18090	DA-18045	DA-9090	DA-9045	DA-6045
製品寸法	1800×900㎜	1800×450㎜	900×900㎜	900×450㎜	600×450㎜
製品厚み	0.5㎜（ただし電極部を除く）				
定格電圧	AC100V（50/60Hz）				
起動電力	500W	250W	250W	125W	84W
消費電力	300W～100W（安定時145W）	150W～50W（安定時73W）	150W～50W（安定時73W）	75W～25W（安定時38W）	55W～15W（安定時26W）
標準抵抗値	30Ω±25%（気温25℃）	60Ω±25%（気温25℃）	60Ω±25%（気温25℃）	120Ω±25%（気温25℃）	200Ω±25%（気温25℃）
電極部	キャブタイヤコード500～600㎜				
絶縁性能	100MΩ以上（500Vメガオーム計使用）				
絶縁耐圧	AC1000Vで1分間以上耐える				

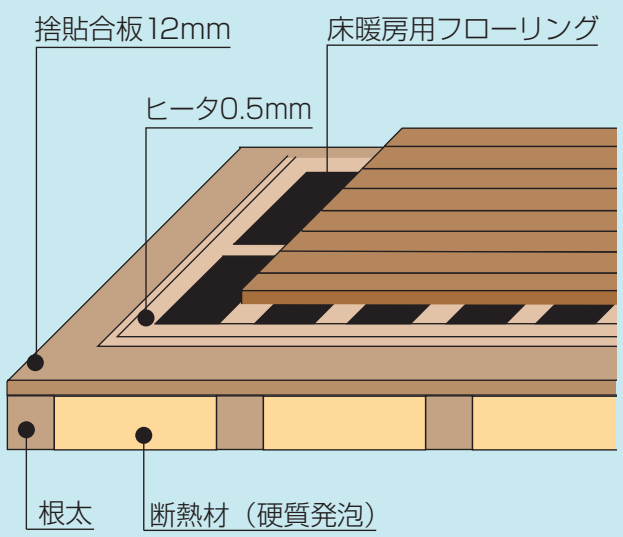
危険!! 暖テックの釘打ち可能部分以外に釘を打つと漏電の原因になり感電・火災等の事故につながり非常に危険です。

■ 仕上材別施工図

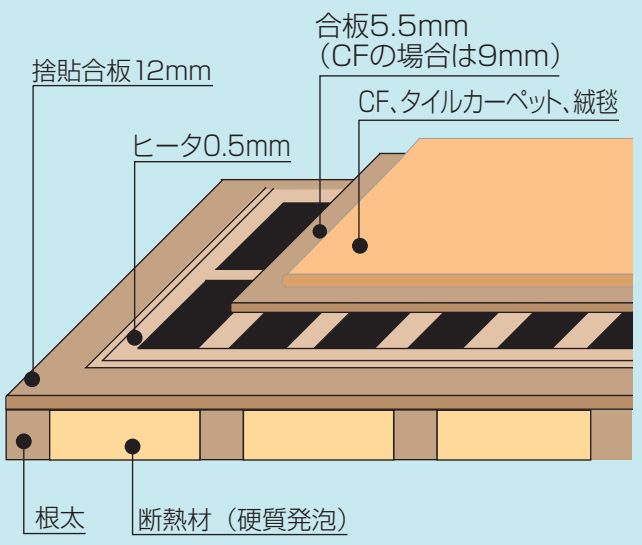
※根太間断熱がない時は、専用断熱材(5.0mm)を使用して下さい。

シート工法

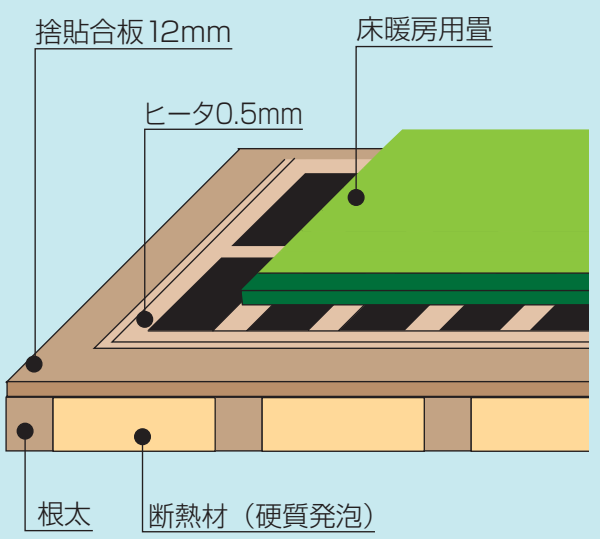
● フローリング施工図



● CF、タイルカーペット、絨毯施工図

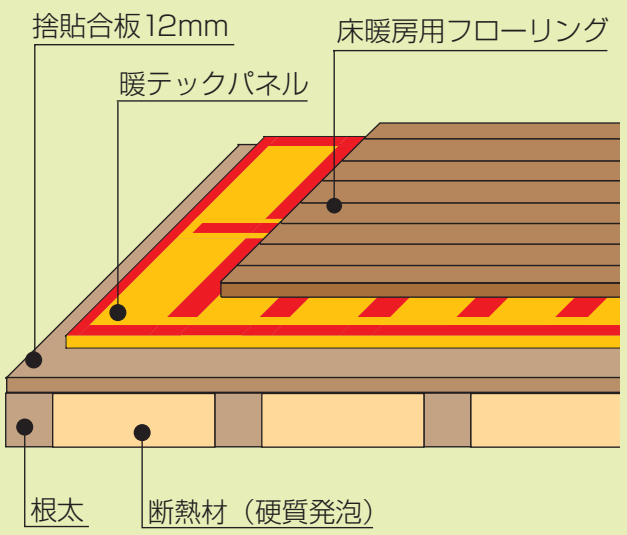


● 畳施工図

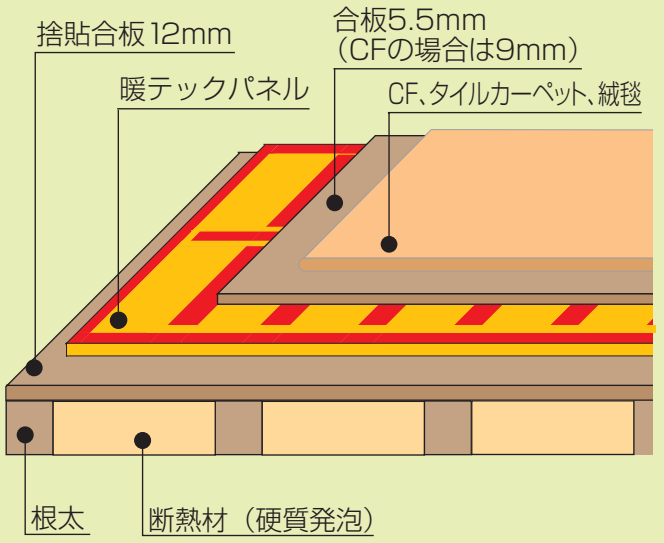


パネル工法

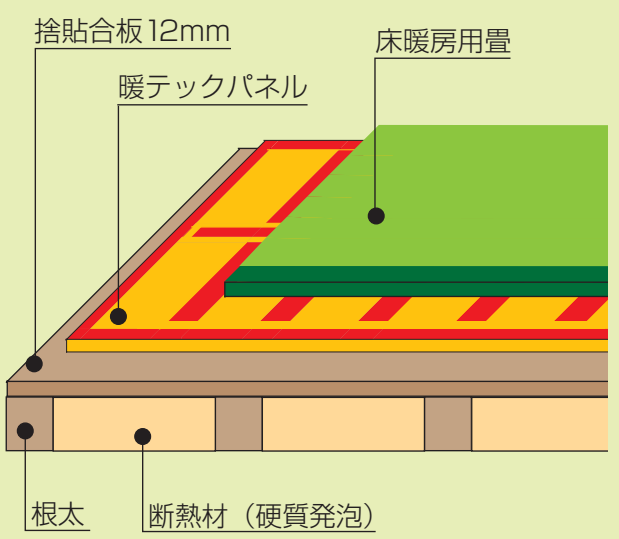
● フローリング施工図



● CF、タイルカーペット、絨毯施工図



● 畳施工図



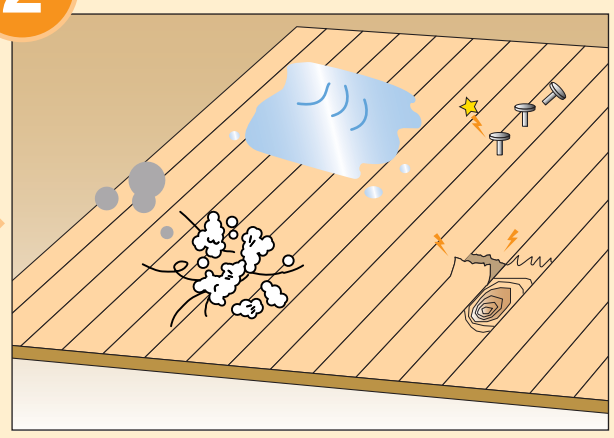
共通事項

A common matter

1 清掃

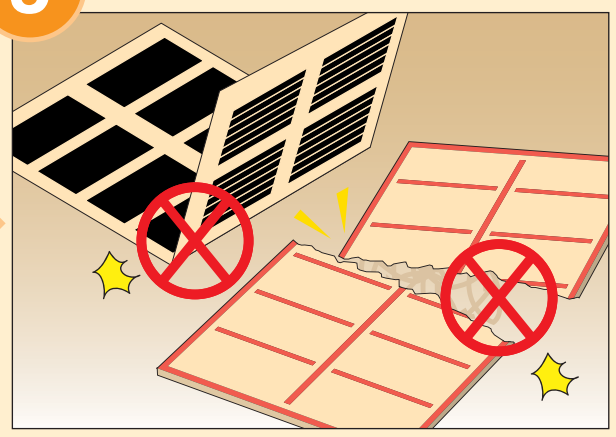
ヒータを置く前に必ずゴミ、木くずをとって下さい。

2 下地の確認



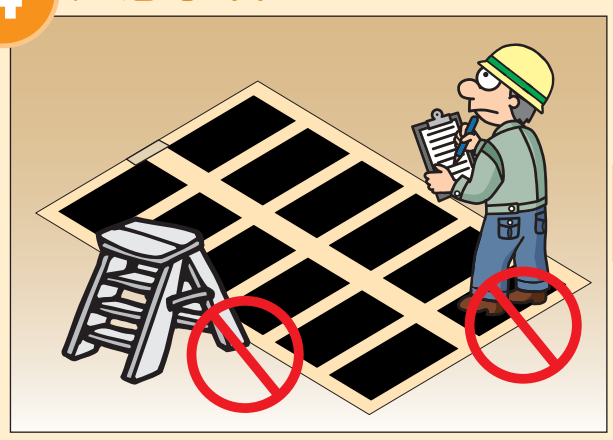
下地は必ず乾燥剤を使い、釘の頭や針金、段差や節などを平滑に処理します。その後、掃除機などでゴミ、木クズなどをきれいに掃除します。

3 折り曲げ、切取り厳禁!!



商品は現場で加工しないで下さい。
保証対象外になります。

4 注意事項



ヒータは、0.5mmと非常に薄いものです。
脚立を直接置いたり、土足のままで歩かれるとシートを破損する恐れがありますのでヒータ上で作業される場合はベニア等で養生して下さい

5 コントローラの取付

床上より標準として120cm程度の高さで直射日光や他の熱源からの温風や熱のあたらない所に設置して下さい。
スイッチボックスの大きさは機種によって変わります。

6 1次配線とセーフティボックスの取り付け

セーフティボックスの位置を決め（床から250～300mm）
JISスイッチボックス2個用（現場調達）を取り付けます。
1次側電源線を引き込みます。

シート工法

A carpet method of construction

1 ヒータの墨だし

仕上材（フローリング）の貼り出し位置と仕上材の幅で割り付けの墨だしを行います。

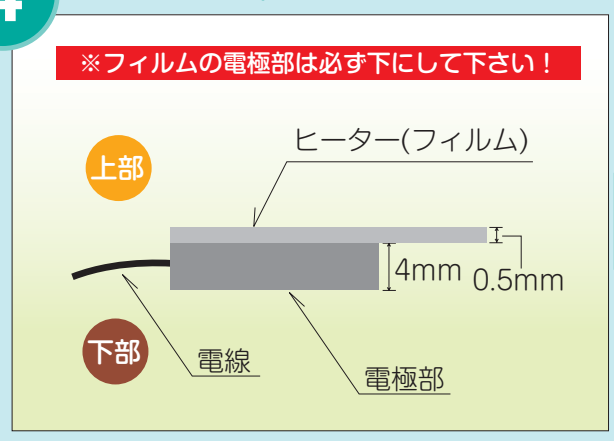
2 仮止め

設置場所にヒータを仮止めします。
養生テープ、もしくは両面テープにて固定します。

3 電極部開口

電極部の厚み4mmを削ります。
DA-18090であれば11cm角の大きさです。

4 ヒータの向き



電極部分が出ている方が下になります。
ヒーター厚みは0.5mmですが電極部分は4mmあります。
電極部の大きさはヒータの大きさで変わります。

5 電源線 落とし込み

電源線落とし込みの穴を開け、落とし込みます。

6 設置完了

電極開口部に凸部がない事を確認して下さい。

断熱材使用　根太間に断熱材がない場合

Insulation material use

1 断熱材の固定

ウレタン系接着材を使用して、捨て貼りと断熱材を固定します。

2 電極部の開口

電極の大きさに合わせて電極部を開口します。
電源線を落とし込みます。シート工法と同じ手順です。

3 ヒータの仮止め

断熱材の上にヒータを養生テープ、
又は両面テープで仮止めします。

パネル工法

A panel method of construction

1 パネルの固定ー1

ウレタン系接着材を使用し捨て貼りと、
パネルを固定します。

2 パネルの固定ー2

パネルの赤線部分をビス止め又はくぎ止めします。
必ず赤線部分にお願いします。

3 落とし込み

16 φで穴をあけ、電源線を落とし込みます。

電 気 工 事

Electric construction

1 使用電線

内線規程に準ずるものを使用して下さい。

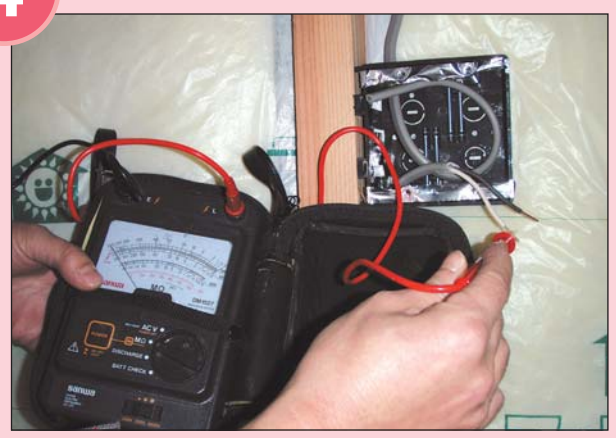
2 電源線接続

ジョイントボックス内に接続部分を収めます。
接続は圧着端子を使用します。

3 電源の固定

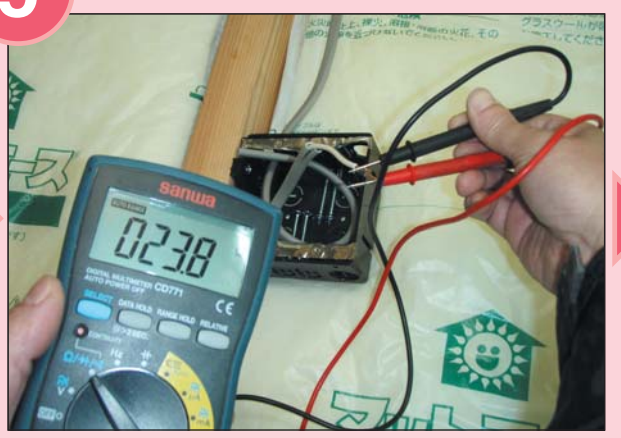
床下配線を根太に固定します。

4 漏電テスト



絶縁抵抗計（DC500V）で漏電テストして下さい。
50MΩ以上で合格です。

5 抵抗値を確認



テスターで抵抗値を確認します。

6 標準抵抗値

暖テックヒータ　初期抵抗

ヒータサイズ	抵抗値(Ω)	誤　差
18090 (100V)	30	±25%
18045 (100V)	60	±25%
9090　(100V)	60	±25%
9045　(100V)	120	±25%
6045　(100V)	200	±25%
18090 (200V)	80	±25%
9045　(200V)	320	±25%

※200Vはパネルタイプのみです。

気温20℃時の抵抗値です。
気温が低いと抵抗値は小さくなり暖かいと大きくなります。

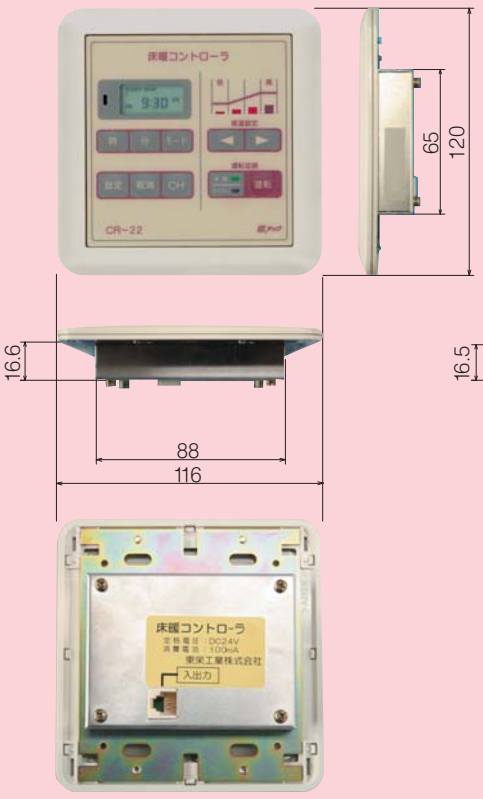
■ コントローラの種類　床暖房の制御機器として「コントローラ」と「セーフティボックス」があります。

● コントローラ

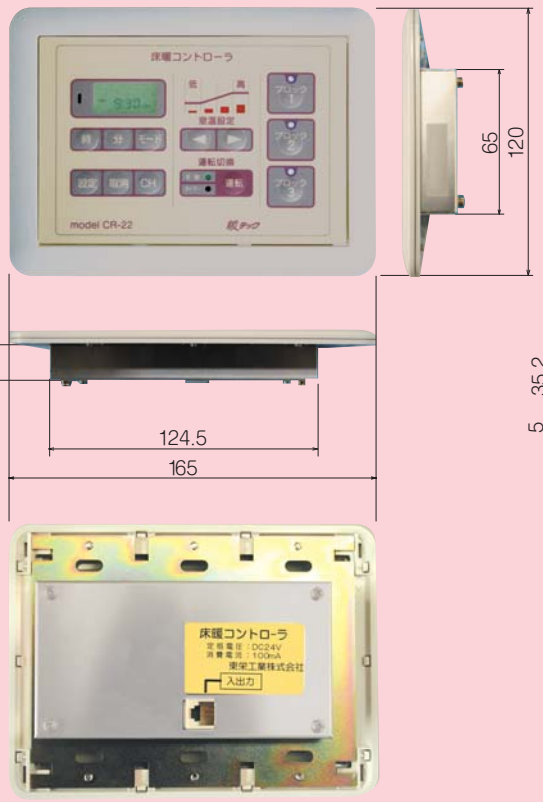
床上より標準として120cm程度の高さで直射日光や
他の熱源からの温風や熱のあたらない所に設置して下さい。

■ DCR-22W　ダブル
※DCR-22T トリプルと
同じ大きさです。

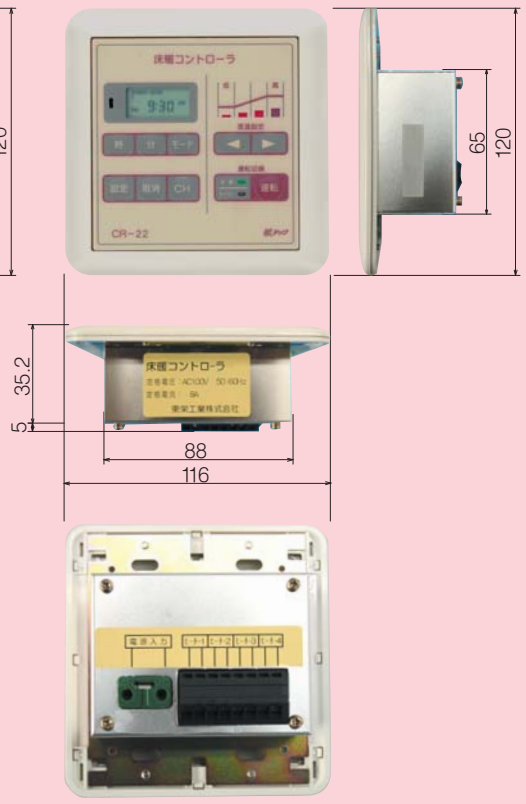
■ DCR-22S　シングル



■ DCR-22T　トリプル



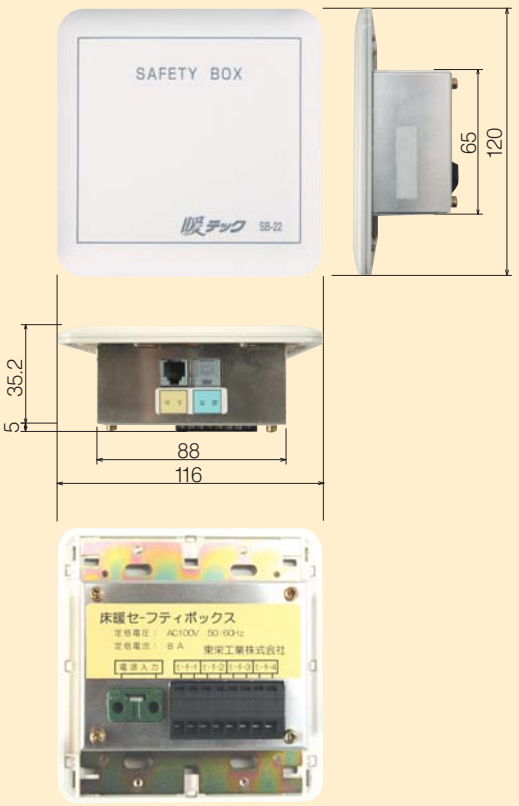
■ DCR-22C　（セーフティボックス一体型）



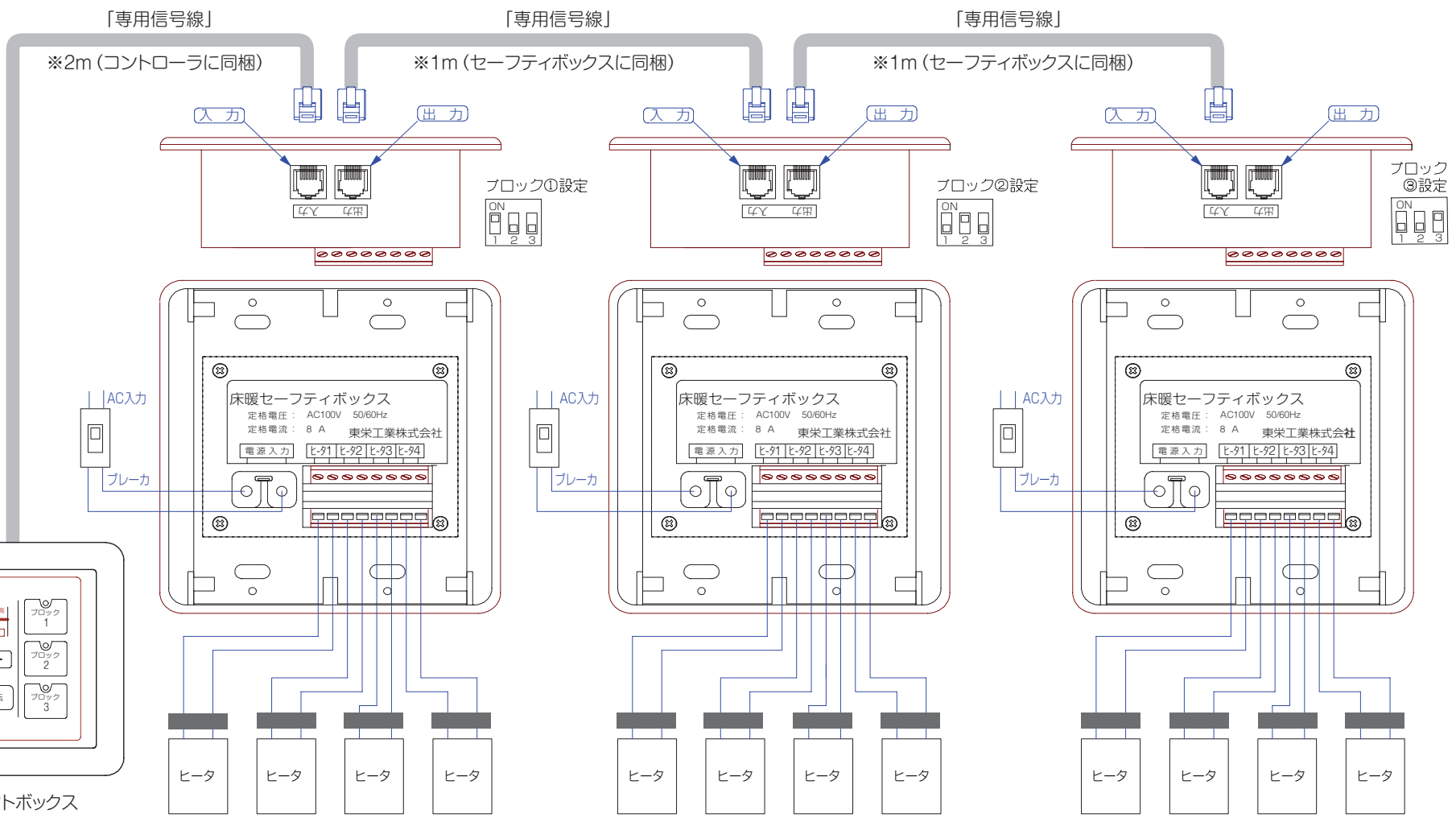
● セーフティボックス

床から250mm～300mm程度の
高さで取り付けてください。

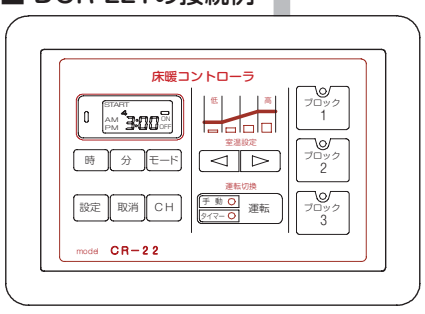
■ DSB-221



■ 電気系統図（代表例）　※詳細は各コントローラ同梱の説明書を参照して下さい。



■ DCR-22Tの接続例



※ ▬▬ はジョイントボックス

⚠ 試　運　転 ⚠

**施主様に引渡す前に電源を入れ
試運転を行って下さい。**

※PTC特性の性質上、窓・壁・ドア等が完全に仕上がっていない場合や、下地等に湿気があり完全に乾燥していない場合は充分な昇温を得られない事があります。しかし、しばらく運転する事により解消されます。

※室温30℃以上の場合は電源が入りませんので、空調などで室温を下げてから試運転して下さい。

お問い合せは当代理店へどうぞ

東栄工業株式会社　ISO 9001:2000認証取得企業
電気床暖房工業会会員

暖テック事業部

【本　部】〒630-0223　奈良県生駒市小瀬町34-9
tel.0743-76-1203　fax.0743-76-6452

【東　京】〒101-0041　東京都千代田区神田須田町2-8-17福家ビル4F
tel.03-3255-6888　fax.03-3255-6889

フリーダイヤル　0120-363-462（サムサシラズ）

E-mail　info@dantecjp.com

【本　社】〒630-8127　奈良市三条添川町4番1号
tel.0742-33-3801　fax.0742-33-3822

http://www.dantecjp.com

●代理店・取扱店募集中
※この用紙は再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK　環境保全への取り組みを奨励し、環境にやさしい「大豆油インキ」を使用

※仕様・意匠は改良のため変更することがあります。　※この施工マニュアルの内容は平成20年5月1日現在のものです。